

豪雨時代の森林管理

—流域治水、木材生産、長期持続性—

2021年11月28日（日）

13：30～15：30

講師：蔵治光一郎

（東京大学教授）



主要著書

『緑のダム』（編）

『水をめぐるガバナンス』（編）

（第19回高知出版学術賞受賞）

『森の「恵み」は幻想か』

『森と水の関係を解き明かす』

『緑のダムの科学』（編）

戦後の拡大造林木が伐期にさしかかり、国の「林業成長産業」化の位置づけのもと皆伐が進行し始めています。先発地九州ではすでに大規模な皆伐が無秩序に行われ、球磨川災害の一要因だといわれています。「緑のダム」・森林水文学研究者として活躍されている蔵治先生に、球磨川流域等の調査を踏まえた実態と、豪雨時代の真の「流域治水」のため、森林管理・施業のあり方等をお話いただきます。共通認識を深めるべく、ご参加いただければ幸いです。



* 会場：四国森林管理局 2階大会議室：高知市丸ノ内1丁目3-1
会場参加：定員50名（入場無料、定員に達し次第打ち切らせていただきます）

申し込み方法：tel 088-872-5378

（申し込み期限：会場、オンラインとも11月22日）

* オンライン参加（Zoom：定員90名）

申し込み方法：QRコードから

URLから：<https://forms.gle/wusRdCDwVtg86C2r8>

（折り返し登録アドレスへメールが届きますので、当日はメールに記載されたアドレスより入室ください）



主催：高知県緑の環境会議（088-872-5378）

後援（申請予定）：四国森林管理局、高知県、RKC高知新聞社、朝日新聞高知総局